

Q 常勤医として着任されて数ヶ月が経ちますが、いわき市の印象、常磐病院の印象を教えてください。

幼いころ、四ツ倉の海でよく遊んでいました。帰宅途中の魚屋さんで、貯めたお小遣いで購入した鰹がおやつでした。「今日はニンニク醤油にしようか、いやいや、はたま、しょうが醤油にしようか」といつもその選択に悩んでいました。今でも穏やかな海岸の風景を思い出します。光景は震災後に変化しましたが、あの香りは今でも記憶に残っています。いわき市は、大きな町で、とても魅力的です。県立大野病院に勤めていたころは、夜ノ森公園、平駅に寄っ

て、小名浜に出かけていました。双葉診療所で業務をした経験もあります。これら変遷より、現在の常磐病院での勤務はまさに天命であると考えざるを得ないのでございます。常磐病院は、地域包括ケアシステムといわれる、高機能医療から在宅診療、在宅介護までシームレスに連携したシステム構築がなされている、AIを取り入れた近未来の地域医療を視野に入れた取り組みがなされており、まさに、「一山一家」という雰囲気が出されています。

Q 先生のご趣味は？ 休日は何をされていますか？

趣味は、作曲です。休日は、



皆さん、よろしくお願いします！

今月は、2023年4月から乳腺外科医として着任した権田 憲士(ごんだ けんじ)医師をご紹介します。

## PROFILE

日本外科学会 専門医  
日本臨床遺伝学会 専門医  
日本乳癌学会 認定医  
日本消化器病学会 専門医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

平成13年3月 福島県立医科大学医学部卒業  
平成13年5月 福島県立医科大学医学部附属病院 第二外科 研修医  
平成16年12月 福島県立医科大学医学部附属病院 第二外科 助手  
平成19年10月 福島県立大野病院 外科医長  
平成25年5月 埼玉医科大学国際医療センター 消化器病センター 消化器腫瘍科 講師  
令和5年4月 ときわ会常磐病院

生物の遺伝情報をもとに沖縄5音階(どみふあそし)をあてはめたオリジナル曲を作成しています。将来の夢は、年末の紅白で拙曲であります「命の滴」を演奏することです。

Q 先生が現在の診療科を目指されたきっかけを教えてください。

研修医時に、小学生の男の子が泣きながら、「先生、お母さんを助けて。」と懇願されたのがきっかけです。なぜ、お母さんが亡くならなければいけないのか。乳癌は局所の疾患のみならず、遺伝的疾患の一種で、さらに、乳癌特異的免疫能が破綻した、システム的な疾患ではないかと、2009年に現役外科医として全国で2番目に臨床遺伝専門医を取得し、乳癌と遺伝外科免疫の研究に着手したので

あります。

Q 先生が担当される乳腺外科の業務内容や、紹介を受けている疾患などについて教えてください。

乳腺外科の主な診療対象疾患は「乳がん」です。女性に圧倒的に多い疾患であること、近年、若年者の発症(発症頻度は40歳代から上昇します)もみられるのが、他の癌腫との大きな違いです。治療から5年以上経過した後の晩期再発も少なくないため、診断から治療、その後の経過観察まで長期にわたる外来診療が必要となります。また、乳がんはマンモグラフィーをはじめとした検診によるエビデンスが最も蓄積されている癌腫の一つであり、検診受診による早期発見が重視されています。検診2次精査として超音波検査をいたします。

ときわ会常磐病院では、地域の医療施設・介護施設との連携を強化するため、当院の最新の医療情報を定期的にお知らせしております。



公益財団法人

ときわ会  
TOKIWAKAI GROUP

常磐病院  
Jyoban Hospital



Q いわき市の医療機関の先生方や、市民の皆様にはメッセージをお願いします。

医療機関の先生方へ

2018年7月より「がん化学療法歴のあるBRCA遺伝子変異陽性かつHER2陰性の手術不能または再発乳癌」に対しPARP阻害剤であるオラパリブが保険適応となり、コンパニオン診断としてBRCA1/2遺伝学的検査も保険適応となりました。遠隔転移を有する乳癌は現在においても根治は困難であり、コンパニオン診断の対象となる患者さんは、全身状態や精神状態、心理状態の万全でない中で遺伝学的検査の持つ意義に関して理解する必要に迫られます。また、特に、患者さんが病的バリエーション性であった場合は「治療選択肢が広がった」という治療上のポジティブな情報になると同時に、御家族、血縁者の方々は「自分もい



▶乳腺外科医師と医事課スタッフ

つかは乳癌になり、このような病態に陥ってしまうのではないかと。遺伝カウンセリング学会より一部抜粋)

令和5年6月16日、「良質かつ適切なゲノム医療を国民が安心して受けられるようにするため

の施策の総合的かつ計画的な推進に関する法律」(令和五年法律第五十七号)が成立しました。ゲノムとは個人が生まれながら持つ遺伝子情報のすべてをまとめた概念です。ゲノム情報の個人差は、生まれながらにして一人ひとりが異なることの要因でもあり、さらに個人の病気へのかかりやすさ(かかりにくさ)に関係する情報でもあり、そこからゲノム情報を診断や治療法の選択に用いるという概念が生まれ、「ゲノム医療」と称されていきました。ゲノム医療により、難病やがんの新たな治療法が見出されたことは人類に恩恵をもたらしており、今後も医療現場におけるゲノム医療の活用やその基礎となる研究の推進が望まれます。一方で生まれる前にして個人が有するゲノム情報は、本人およびその血縁者、さらには子孫についても将来の健康状態や障がいも予測し得るといった特性があります。我々は、ゲノム情報の活用と患者さんの法益保護は車の両輪であることを再認識し、今後も関連する学術団体・患者団体を含めて幅広く連携して、より良い医療の提供と普及という共通の目標に向かって努力を重ねる所存です。(日本人類遺伝学会より一部抜粋)

いわき市民の方へ

乳がんの症状の多くは痛みの無い「シコリ(乳房腫瘍)」です。また、乳頭からの血液が混じった分泌物もよく見受けられる症状です。その他にも乳輪や乳頭のただれ、皮膚のくぼみ等の症状にも注意が必要です。乳がん以外にも乳腺外科が対象とする疾患は存在します。気になる症状があった場合は遠慮せずにご相談ください。

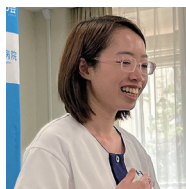
乳腺症、乳腺炎、石灰化、のう胞のように、治療の必要がない良性の状態もありますが、一般の方々においては、悪性(がん)・良性の判断が難しいケースも多くあります。そのため不安がある場合、まずは受診をおすすめします。乳がんの治療法「手術療法(乳房部分切除術、乳房切除術)」「放射線

療法」「薬物療法(内分泌療法、抗がん剤療法、抗HER2療法)」の中から、患者様それぞれの進行状況に適したものを選び、組み合わせ、ガイドラインに従って、オーダーメイドの治療をおこないます。

乳癌の治療法は、昨今、急速に進歩しており、手術に薬物療法や放射線療法を組み合わせた集学的治療を行うことで、進行癌の方々においても長期生存を達成できるケースが増加しています。いずれにせよ、症状に不安がある際は決してご自身一人で抱え込まずに、いつでも、お気軽に、我々にご連絡なされてくださいませ。外来が大変に混雑される場合がございます。お電話いただけると幸いです。

TOPIX

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン 夢を生きる女性のための教育・訓練賞 日本北リジョン賞 授賞式



2023年6月8日、「国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン 夢を生きる女性のための教育・訓練賞 日本北リジョン賞」の授賞式が行われました。「国際ソロプチミスト」とは、女性と女性の生活と地位を向上させるための奉仕活動をおこなう世界的な組織です。今回、常磐病院のベトナム人看護師、ファム・ティ・トゥエットさんが前述の賞を見事受賞。

「このような賞をいただけてとても嬉しいです。これからも常磐病院の看護師として頑張ります」と話すトゥエットさん。常磐病院では、これからも外国人スタッフへの支援、働く女性への支援を積極的におこなっていきたくと考えております。



公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00  
〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地  
TEL:0246-81-5522 / FAX:0246-81-5577

ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようよろしくお願いします。

